

刊夕日八十月七

常警毎日新聞

定価一冊五銭 金五銭 郵費五銭
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社
電話 六三〇〇
社 社

旅に求めて

平署
千代田金平

本警察署管内消防組一行の消防視察に庶子の存在として、不肖随行を許された。目的地は井上組頭提唱の静岡縣濱松管内吉野村、富塚村、沼津署管内静浦村、東京青梅署管内石油村等の各農村優良消防及警視廳の都市消防であつた。

嫡子なら格別、庶子ともなれば人知れぬ義理の悩みがある。見づばなし、聴きづばなしではいさゝかとの殊勝なつもりと責任を果した氣安さを味びたい人間らしい氣持から、鈍い觀察ではあるけれども、貴重な紙面を拜借した次第である。

五月十九日、鳥の聲に夜は明けた。朝もやの中に、夜霧に濡れた青柳が墨の様に淡く浮いて、ナヨ／＼と微かに揺れて居るのも、未だ夕べの醒めきれぬ夢が残つて居る。舗道を行く靴の音だけがこつ／＼と失態に強朝の帳を破つて四邊に響く。早起の險はいやに重い。流石は組頭連の事、井上

組頭を始め各組頭は定刻迄に平驛に集合した。柴田署長以下十三名はホームに滑り込んだ上野行急行に雪崩込んだ。超満員だ、身を入るべき隙など更になく一同大閉口、其處に寄り、此處に佇立、或は食堂車で漫談に花を咲かせてボーイに立

★〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁…ねぎ
小付 生玉子

【晝】インスタントポスタ
ム ケーキ 果物

【晩】蒲焼…穴子 粉山椒
胡瓜もみ

退きを迫られるなど、珍談を豊に盛つて列車は上野驛に着く。上野驛より東京驛は電車の連絡によつて、濱松行の列車に乗る。偉大な近代建築に目を見張り、都會人の發音の美しさに耳を驚かし、容姿の綺麗さに心臓をビクつかせて居る間に、列車はグン／＼と矢の様に延びて横濱、藤澤、茅ヶ崎も過ぎ心中で名高くなつた大磯から、評定で知られた小田原、金色夜の銀嶺に迎えられ、又遙に御神火の大島が微かに霞んで旅愁を慰めて呉れて居る。

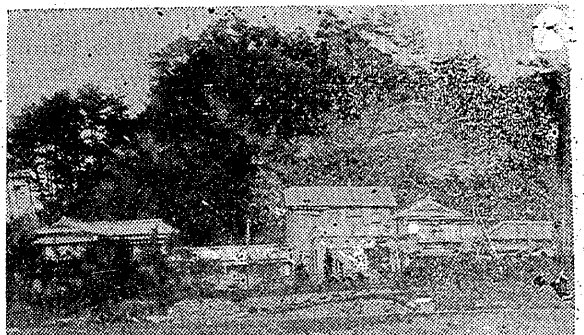
丹那トンネルに八分半を費して光に接して、ホッとした調子に見廻すと玉川組頭高萩氏が見當らない。後になつて判つた話だが、上野で在京中の愛嬢に面會中取残された相だが、一同の心配は一通りではなかつた。

文藝募集

鈴川を離れた。田子の浦を左に、右には富士が迫つて居る。富士山麓に多門將軍の生家を指示して呉れる一乗客に感謝し乍ら、東北健兒を滿洲の曠野に叱咤した今は亡き將軍の華がなりし凱旋當時が想ひ出され、眼頭の熱するのを覺えた。

洋食 喫茶 宴会
女給數名募集
コンパル
TEL・666

空には星 地には銀線
タクシー界の最高標準を行く御待の夢
1935年式
高級 ポンテアク 今朝到着
何卒御試乗を御待申して居ます
平 驛 前
昭和タクシー
電話 340 343



開院廣告

今般左記ノ場所へ齒科醫院開設致シ去ル六月廿五日ヨリ齒科一般診療ノ需ニ應ズ
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ

東條齒科醫院

日本大學 齒科醫學士 東條守義
場所 平町北白銀町機關庫裏
毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム アツキアイス
ミルクセーキ ソーダ水
ミツ豆 クリームソーダ
其他氷水各種
相初めました是非夏の夕の御散歩
歸へりに御立寄り下さい
平一丁目

不夜城

迅速 出前
電話一四一番

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい
世界的ニ進出セル
宮田ノ自轉車
夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
ゼブラノ自轉車
實用經濟車トシテ好評アル
マーツ號自轉車
マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商標を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様の御了解を得ん

難波 睦

醫學博士
看護婦募集
平町大町新川端
電五〇二

常警線湯本驛 小瀧鑛泉

御旅館 瀧の湯
御自炊
電話 小名濱 103番

中等野球戦

餘す處四日 地元の期待甚大

警中平商の戦跡を顧る

灼熱の炎天下に母校の名譽を賭けて熱球を飛ばす縣下中等學校野球大會は餘すところ四日に迫り警中、平商兩校野球部は最後の**猛練習**に心血を注いでゐるが今シーズンに於ける兩校の戦績は

△第一回戦(六月一日)
 中 201211300
 商 0200200015

△第二回戦(六月十三日)
 中 200030000
 商 20400001A7A-5

△第三回戦(七月十四日)
 中 1001002131A
 商 01300022008

△第四回戦(七月十六日)
 中 51051100A13A-3
 商 001010001

であるが更に對安中戦には警中四對三、平商八對六で共に敗れたが田中を平商十七對九、警中三八對六にて破り、まだ

濱三郡 野球大會には縣中は相中双中を八對七、六對〇のスコアーで一蹴

に集中して居るが昨春平商は警中に前哨戦の負越し二つを晴れの

大會で 堂々雪辱した前例もある事として試合運強き平商果してどんな戦跡を展開するか興味ある課題である、因に兩校の大會出場メンバー左の如し

商 本澤脇木藤下藤木生
 平 橋會西荒佐森佐鈴舟
 中 川野澤山成坂代部野
 警 石草柳秋金上矢阿水

平商は双中を六對〇で破り相中には二對〇で一勝一敗の成績である、以上の戦跡より推して警中は平商より一日の長ある如く今大會への地元ファンの期待は警中

北海出稼の

漁船が大漁

江名仲之作漁港からカムチヤツカ方面に出稼出漁中の漁船は四十隻近くに及んで居るが最近の情報に依ると三岬丸、第三権現丸、第二東丸の各船はいづれも一萬二

三千圓の漁獲を見て居り鱈不漁の際として船主連は非常に期待を付けて居ると

篠山校長出發 篠山平第一校長は明十九日福島教育會館で開催の思想問題

市制財政調査の

道草物語 (其)

川崎 文治

氣分満点の朝、初夏の日は燦々として輝いて居る。井上、吉田の兩氏は起きまくれから圍碁をかこみ、ドツシお興を据えて動かぬので、僕は諸橋、佐藤の兩氏と共に、山崎氏に案内されて街へ出た、先づ坪内博

研究会へ出席のため今十八日午前十二時出發した

大好評の

ウニ罐二萬個

大馬力で製産

小名濱水産試験場が昨年より試験的に製造し初めたウニ罐詰は意外の好評を博し二千個は殆んど東京市場に於て消化し盡されたので本年は約二萬箱の大量を出荷すべく目下所員實習生等を總動員して製作を急いで居るが同場は將來罐詰製造の特殊工場を設置し郡産海産

加工品の一大飛躍を計劃して居る

教員野球決勝 郡内小學校教員野球大會の平第一對内郷チームの決勝戦は来る廿三日午後二時より平第一校庭で舉行する事に決定

夏井川改修の

記念碑除幕式

既報夏井川改修事務所が鎌田町地内に工費五百圓で建立した改修記念碑の除幕式は来る廿一日午前九時から舉行の豫定であると

細い瀧の水を受けて、靜かに水車の廻る公園を通り抜け、大正天皇の舊御用邸を拜觀、袴を胸高に帯びた少女の説明をうけつゝ、絨氈を敷き詰めた各御室に参進、御遺徳を偲び奉る。應接の間に御使用あらせられた椅子、テーブル等の配置、殊に幾つかのランプは、今の世に物珍らしく感興を引き、御湯殿や、樓上への階段、御庭先き等何れも質素で勿体ない極みと拜され

士の墓に詣す

「道遙坪内雄藏夫妻の墓」と刻れた墓石の傍らからは滾々として岩清水が湧き、其の流れの音が、四邊の靜謐な風致に解け込んで、博士夫妻の永眠の地にふさはしい閑雅な趣き、頻りに小鸟の囀りが聞える。墓石に苔むす頃は、此處も熱海名の所の一つに數へられ、旅人の杖引く所となるであらう、

組合の事務所 玉川

信用組合は本月上旬より工費千餘圓で組合事務所を新築中であるが今月末には竣工する豫定

平町 人事

回出生

△道匠小路蓬田儀三郎氏四女タカ子

回死

△八幡小路二八福永滋(一ツ)さん

シネマ週報

- △平 館 大河内傳次郎主演「水戸黄門」井染四郎
- 花柳小菊主演「オールサウ」
- △日 館 「戀愛人名簿」阿部九洲男主演「消ゆる短剣」(十五錢)
- △世界館 入江たか子主演「オールドキー」(雁來紅)
- 林長二郎主演「林蔵出世」
- △風寛壽郎「パートキー」
- △「修羅時鳥」松竹發聲
- △ユース「二三三號」(二十錢)

夜叉の貫一のモデルと噂される巖谷小波先生も、此の地に一言なかるべからずと思つた處、あつた、あつた……海に面して「何んの苦も夏の沙路や島三里」の句碑、多分沖の向ふに見える初島への遠泳記念に、先生が囁かれて作つた句であるらしい、先生御在世ならば、當時の模様など詳しく聞けるものを、桐一葉に托されて御他界の今は、此事を聞くによしなし、噫!

東京短期(本日)

新東	230	大引	高値	安値
新新	230	630	230	370
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230
新新	230	230	230	230

看護婦急派

求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七

山内醫院

電話六九一

インチキ金融業が

幽霊保証で一萬圓

昨夜槍玉に擧げられる

平署は目下平町のインチキ金融業者を忍かに内偵中であるが其の第一槍玉として平町白銀町居住酒井良吉(三)が昨夜検査された同人は昨年一錢會と云ふ無盡類の金融機關を組織し會員から集めた六百圓の積立金を種にしてデタラメな保證人を作り南町三五井坂辰之助から二百二十圓、飯野村字南白土桶職山崎某から千

親子喧嘩の

山田長政!

女房の事から

實父に頻死の重傷

湯本町字辰ノ口四九日雇業山田長政(三)は昨十七日午前十一時頃自宅に於いて實父徳五郎(六)と女房の事で親子喧嘩を初め實父は傍の鐵瓶を振上げて掛つて来たのでカッとなつた長政がその鐵瓶を取り返して反對に實父の後頭部を強打し瀕死の重傷を負はし目下平署で傷害罪として取調中

平町選挙肅正委員

平町の選挙肅正委員六十名は左記の如く本縣知事より任命さる

平町選挙肅正委員六十名は左記の如く本縣知事より任命さる

珠算競技

第一校にて

平第一小學校は来る廿五日五時開目より尋五以上各級選手の珠算競技會を開くが問題は讀上算十五題、見取算十題であると

重たい贓品

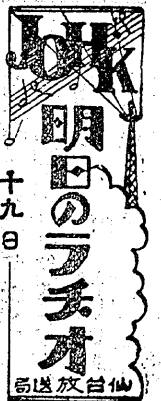
徘徊中捕る

内郷村大字宮字藤澤居住窃盗前科一犯廣瀬淺吉(三)は去る十六日夜警炭倉庫から金屬砲金十貫目(時價十五圓)を窃取し本十八日南町地内徘徊中を檢舉された

ガン火傷

勿來

町大日本炭礦坑夫信政二女和地ヨウ子(三)は去る十五日午後四時頃隣家のガン火の傍らで遊戯中火が



今日晩の部
後六〇〇 子供の時間
合唱海邊の眺望 外七ツ
J.O.A.R. 唱歌隊 伴奏丹生健夫
後六、二五 講演「山岡鐵舟の少年時代を語る」富田豊彦
◎山の夕◎
後七、三〇 趣味講演「山岡鐵舟の少年時代を語る」富田豊彦

主家から盗み

自轉車で高飛び

古物商に擔ぎ込んだ所を其場で檢舉さる

秋田縣北秋田郡長木村生れ住所不定無職石田常吉(三)は八幡小路吉田金作 立町荒川淺次郎 仲間町佐藤幸太郎 田町野崎滿藏 南町小松茂 一丁目坂本隆藏 研町吉村安治郎 鎌田町鈴木光吉 南町吉田五平 搔樋小路緑川喜三郎 古鍛冶山崎清三 五丁目諸橋久太郎 胡摩澤矢野泰次郎 十五丁目大嶺庫 南町大森勇 搔

「山の唄」外三ツ 兒玉好雄 伴奏日本ビクター管絃樂團
後八、五〇 物語 ニュース 氣象通報 番組預告
明日の部
前六、三〇 實用文講座 服部嘉香
前七、〇〇 朝の修養「勝鬨經」深浦正文
前八、〇〇 母の時間「休暇中の兒童の讀物について」帝國圖書館長松本喜一
後八、〇〇 尺八合奏 一筆曲「夏夜の曲」菊武祥
庭 二、尺八合奏 湖上の月 吉田泰山
後二、〇〇 趣味講座「東北地方と将棋」八段大崎藤一
後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
後七、三〇 講演「地震現象に就て」理學博士石本巳四雄
後八、〇〇 獨唱と管絃樂 奧田良三 松原操 P.C.R. 管絃樂團
後八、三〇 落語「佃祭」三遊亭圓生
後八、五〇 浪花節「怪談 月よみ」玉川勝太郎

平裁判たより

△石城郡勿來町大字窪田字上り途平九番地古物商村上市松(三)及び錦村大字江栗字馬場三十三古物商小鍛冶拾要(三)の兩名は制規の帳簿に記入せず略式にて各罰金五圓に處された
△去る五月四日午後十時頃より明朝にかけて好間村大

假名は去る十六日奉公先の平町仲町木炭商阿部徳平よ
搔樋小路阿部政右衛門 四丁目猪狩庄平 材木町榎田榮太郎 鎌田町草野七五三之助 番匠町堀江正茂 古鍛冶木澤常松 二丁目山崎幸之助 南町青木秀次 鎌田岡田千藏 柳町小野金太郎 八幡小路鍋田三重 材木町篠山廉 新川町赤津千里 揚土臺小楡山久作 舊城跡

平職業紹介所報告

回人を求める方
△兒守 十五才 給料面談
△店員 二十才 尋卒 給料面談
△出前持 二十迄 尋卒
△女中 二十才 尋卒 月五十六圓
△女中 二十才 尋卒 月五圓
回職を求むる方
△漁夫 二十八才 尋卒
△大工 二十五才 高卒
△青物店員 三十才 高卒
△三助 五十五才 尋卒
△女中 二十一才 高卒



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島狂史

第七十八回

三人の訪客 (四)

「ほう、大分大久保を憎んで居るのう。しかし大久保はとにかく器量人だよ、大久保に政治をまかしてよくと安心ぢや」

「いや、大久保は日本を外國の屬領とするをくひない男ですぞ」

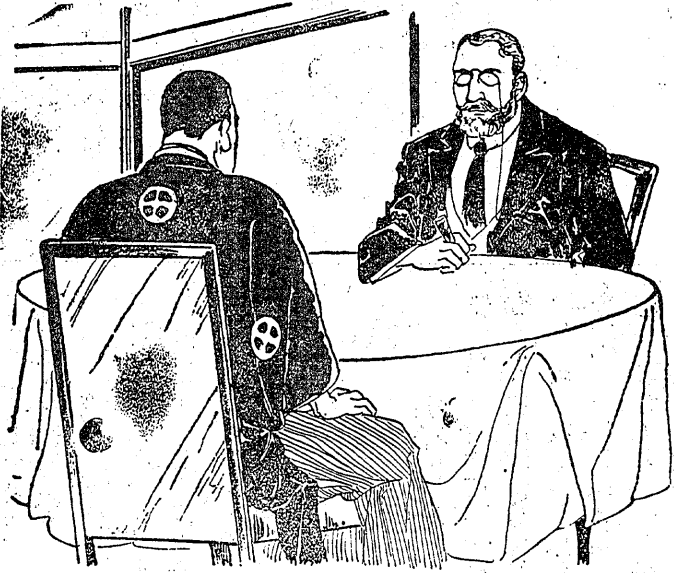
「ほう」
西郷は驚いた風をみせたが内心いさゝかも驚かぬらしい。

「大久保は征韓論を叩きつぶして、内政に専念し日本を英國流に全部改革するの肚をもつて居ります」

「それはなにも大久保一人にかぎらぬよ」

「しかし、日本を英國の屬領として悔ないのは大久保一人でせう」

「大久保は愛國心の強い男だよ」
「だが、パークスと接近しパークスの意見にしたがつて日本の政治をみて居つては遂に日本を英國の……」
「ハッハ、ハ、あなた、かなり其の想像力がたくましいのう」
「いや、斷じてこれは……」



「はたしてそのあくる日。パークスが訊ねて来た。駐日英國公使が西郷の私

の陳述がまつたく架空なものだときめてしまふわけにも行かなかつた。
「あなたは、僕の進言を笑殺なさるが、見なさい、今日明日にもそのパークスがあなたに外遊をすすむに参りますから……その時、僕の申上げたことが一々思ひあたるでござりませう」
「なるほど……」
西郷の顔からもう笑ひは消えてゐた。

「ハッハ、ハ、ハ、」
西郷は哄笑した。そしてその笑ひのあとで、
「なるほど、パークスにはさういふ腹があるかしらぬ。大久保をそののかし大隈、伊藤に政事ををしへてをる点は、いさゝか臭い……」
と思つた。だから大志賀

邸を訊ねるなど、しかも何の豫告もなしに馬車でくるなど、少々おたやかではな

えうけとれぬけらゐだつたパークスは餘談中もときどき、これもまた大久保、伊藤と同様の日本人であるか……といふかつた。
卑屈で陰気でこせこせした日本人のうち、これはまたすい分の變り種だと思つた。物わかりがいゝやうで一向頭がよくない風におもはれるし、こちらの話をのみこんでくれているのか

うわの空でまいてゐるのかそれさへ捕捉できない譯のわからぬ男だと思つた。日本人をすべて南阿の土人か、支那の國民と同様にくみしやすい民族だとなめてゐるパークスにとつて、西郷はあなどりがたい人間だつた。
西郷もまたパークスをたゞのたぬきではないとら

体温計の検査日です

10日 検査
お宅の体温計は?
◎ 確な体温計を御使用下さい
◎ 毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人 西村屋薬局
計量器 平・二電 三番

創業満十三年記念奉仕

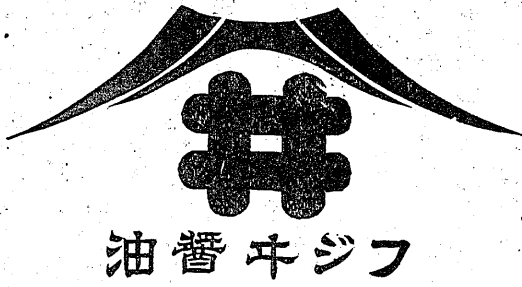
貸切の御用命の方全部謝恩抽籤券一枚贈呈
御用達の迅速を期する爲今回更に卅五年型ダッチブラザースセダン二輛を購入、御用命に應じます。
八月廿八、三十日の兩日を謝恩感謝デーと致しましてたの方法を以て御厚情に對する敬意を表したいと思ひます。

抽籤日 昭和十年八月二十九日
當選者 五十名様 第一班 二十五名様 第二班 二十五名様
期日 昭和十年八月二十九日(第一班) 三十日(第二班)
場所 茨城縣磯原海岸天妃山清遊場 (遊覽バスにて)
平發 午前七時(粗酒中食差上)
磯原發 午後五時
潮干狩海水浴礦泉等に一日御ゆつくり御遊び願ひます(詳細は抽籤券に明記せり)
平町 尼子自動車商會
タクシー部
電話六四〇番

景品付大賣出

景品 九升詰壹樽御買上毎二優
良化粧石鹼二ヶ入壹箱

特賣期間 自六月五日 至七月卅日



油醬井

念記設開所張出平

賣特油醬傳井 水戸

定 九	最上	フジ井印	三圓九十錢
價 (詰 升)	次	フク井印	三圓三十錢
	並	カク井印	一圓八十錢

平町 田町
井傳醬油出張所
水戸市 井傳醬油醸造元
電 四六番
特約店御希 方ハ御報次第參上